

八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標案について

■国の基本目標への対応

まち・ひと・しごと創生は、人口減少克服と地方創生をあわせて行うことにより、将来にわたって活力ある日本社会を維持することを目指す。

地方版総合戦略では、国の総合戦略を勘案することが求められており、上記の政策分野を念頭に置きながら、八潮市の状況に即した基本目標を設定するものとする。

基本目標①：地方における安定した雇用を創出する

「しごと」と「ひと」の好循環を確立するため、まずは、地方における「しごと」づくりから着手する。

東京圏への一極集中を是正するためには、若い世代の東京圏への転入超過を解消する必要がある。そのためには、地方において毎年 10 万人の若い世代の安定した雇用を生み出せる力強い地域産業の競争力強化に取り組む必要がある。

また雇用の量ばかりでなく、職種や雇用条件、生活環境の不適合などによる雇用のミスマッチや、ポテンシャルある女性の就業機会の不足などの理由により、地方で生かされない潜在的な労働供給力を地域の雇用に的確につなげていくため、魅力ある職場づくりや、労働市場環境の整備に取り組み、正規雇用等の割合の増加、女性の就業率の向上など、労働市場の質の向上を図る。

基本目標②：地方への新しいひとの流れをつくる

今後、地方で生み出す毎年 10 万人分の雇用を、こうした潜在的希望者による地方への移住・定着に結び付けるべく、東京圏から地方への移住の促進、地方出身者の地元での就職率向上など、地方への新しい「ひと」の流れづくりに取り組み、「しごと」と「ひと」の好循環を確立する。

こうした、東京圏から地方への新たな「ひと」の流れづくりにより、東京圏からの転出者と、東京圏への転入者を均衡させ、東京一極集中の流れを止めることを目指す。

基本目標③：若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

地域の実情に即し、結婚・妊娠・出産・育児をしやすい地域づくりに向けた環境整備等の取組を推進することにより、安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を達成していると考え人の割合を 40%以上とする。

若年世代が安心して働ける質の高い職場を生み出し、結婚希望の実現率を 80%に引き上げていくとともに、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援や、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の確保に取り組むことにより、夫婦が希望する子育て環境を提供し、夫婦の予定する子供数の実現割合を 95%に引き上げるよう取り組むこととする。

基本目標④：時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

「しごと」と「ひと」の好循環は、それを支える「まち」の活性化によって、より強固に支えられる。ただし、「まち」の様態は地域ごとに異なるものであり、国が一律に目標を定めることは難しい。地域の課題は地域で解決する観点から、「小さな拠点」の整備や「地域連携」の推進など、具体的な施策に対する重要業績評価指標（KPI）を設定した上で、国の目標数値は、各地方公共団体が策定する「地方版総合戦略」の内容を踏まえ設定することとする。

※国の総合戦略から要点を抜粋して掲載

■八潮市 総合戦略 基本目標（案）

国の基本目標① 地方における安定した雇用を創出する

<八潮市の現状>

【市内企業の撤退・産業構造の変化】

- ・八潮市の主力産業である「工業」において、受注量の減少や後継者不足により事業所数の減少が見られる。（八潮市総合計画）
- ・農業においても、後継者不足等により、農家・農地の減少が見られる。（八潮市総合計画）
- ・つくばエクスプレス八潮駅周辺への商業施設の進出など、産業構造が変化しつつある。（八潮市総合計画）

【職住近接性への満足度の高さ】

- ・八潮市の「住まいと職場の近接性」への市民の満足度は高い。（八潮市地方創生アンケート：p 7）

【市民の所得への不安】

- ・市民の 64.0%が、世帯の所得について「不足している」と感じていると回答している。（八潮市地方創生アンケート：p15）
- ・「世帯の所得を増やすために取り組んでみたいこと」として、市民の 20.8%が「より条件のよい職へ転職する」と回答しており、選択肢中1位となっている。（八潮市地方創生アンケート：p 17）

基本目標1：産業の振興（仮）

<基本目標の趣旨>

新たな企業の立地の促進や創業等を支援するとともに、市民の様々な就業のニーズに対応可能な産業の振興を図る。

<取組の基本的方向と対応する総合計画の施策>

4-1 農業

- (1) 農業の担い手の育成・確保
- (3) 地産地消の推進と農産物のブランド化
- (5) 農商工連携事業の振興

4-2 商業・サービス業

- (1) 経営安定化の促進
- (2) 商業環境の整備
- (3) 中心商業拠点の形成

4-3 工業

- (1) 経営近代化の促進
- (2) 工業環境の整備
- (3) 新時代に対応する工業の育成

国の基本目標② 地方への新しいひとの流れをつくる

<八潮市の現状>

【つくばエクスプレス八潮駅開業にともなう転入増加】

- ・つくばエクスプレス八潮駅の開業にともない転入が大幅に伸びたことにより、全国的に人口減少が進む中、人口は増加傾向にある。(人口ビジョン：p 2)

【転出の増加傾向の恐れ】

- ・転入が増加する一方で、転出も増加する傾向が見られる。(人口ビジョン：p 4)
- ・2013年の移動の状況を見ると、年少人口の転出超過や、生産年齢人口の県内他市町村への転出超過が見られ、子育て世代(就学前の子どもをもつ世帯等)の流出の可能性がある。(人口ビジョン：p 6)

【転入促進のためのプロモーションの必要性】

- ・八潮市の近隣の東京都特別区住民への八潮市の認知度は72.5%で、「具体的に知っている」との回答が13.3%に留まる一方、「知らない」との回答が27.5%となっている。(八潮市地方創生アンケート：p 25)
- ・八潮市の近隣の東京都特別区住民に八潮市での居留意向を尋ねたところ、「あまり住みたくない」「住みたくない」との回答が57.8%を占めている。住みたくない理由としては、「交通の便」や「今いる場所から離れたくない」などの意見とともに、「治安が悪そう」「あまりよいイメージがない」「埼玉には住みたくない」など、まちのイメージをあげる意見も見られた。(八潮市地方創生アンケート：p 26)



基本目標2：八潮市の魅力発信(仮)

<基本目標の趣旨>

来訪者や市外の人に対して市の魅力を伝えることで、八潮市の認知度とイメージアップを図る。また、市民に対しては暮らしに関する情報の充実により、一人ひとりの住みやすさの向上を図る。

<取組の基本的方向と対応する総合計画の施策>

4-4 観光

- (1) 観光の振興
- (2) 産業観光の促進
- (3) 観光情報の提供

6-2 情報共有

- (2) 広聴・広報の充実
- (3) 情報交流の支援

国の基本目標③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

<八潮市の現状>

【子育てにおける所得不足の不安】

- ・市民の40.7%が、子どもをもつ・増やす際の問題となることとして「世帯の所得が足りない」と回答している。市民の64.0%が、世帯の所得について「不足している」と感じていると回答している。(八潮市地方創生アンケート：p15)
- ・「世帯の所得を増やすために取り組んでみたいこと」として、「より条件のよい職へ転職する」に続いて、「所得のない世帯員も職をもつ」「副業を行う」を選ぶ市民が多い。(八潮市地方創生アンケート：p17)

【子育て環境として重視される医療】

- ・市民の45.5%が、子どもを産み育てやすくするために市が優先して取り組むべきこととして「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の充実」と回答している。(八潮市地方創生アンケート：p16)

【求められる学校教育の質の向上】

- ・総合計画策定市民会議では、学校教育の質の向上を求める意見が多く出された。(市民会議)

【自分の時間も大切にしたいという思い】

- ・結婚していない市民の26.1% (1/4以上) が、結婚しない理由を「自由さや気楽さを失いたくない」と回答している。(八潮市地方創生アンケート：p12)
- ・子どもを持つ上での問題と言う視点でも10%以上の方が「自由な時間が無くなる」と回答している。(八潮市地方創生アンケート：p14)



基本目標3：子育て支援と教育（仮）

<基本目標の趣旨>

子どもの健康や教育等に関する環境の充実を図るとともに、親が安心して子育てできる体制の充実を図る。

<取組の基本的方向と対応する総合計画の施策>

1-2 幼児教育・学校教育

- (1) 教育内容の充実
- (3) 指導体制の充実
- (4) 食育、健康・安全教育の充実
- (7) 家庭や地域と一体となった教育体制の充実
- (8) 幼児教育の推進
- (9) 高等教育機関との連携・誘致

1-9 男女共同参画社会

- (1) 男女共同参画の促進
- (4) 仕事と家庭・地域生活の両立

2-2 医療

- (1) 地域医療提供体制の充実
- (2) 地域救急医療体制の整備

2-8 児童福祉・ひとり親家庭福祉

- (1) 子育て支援の推進
- (2) 保育施設の整備
- (3) 保育内容の充実
- (4) 要保護児童対策の推進
- (5) ひとり親家庭等の支援の推進

4-5 労働

- (2) 就業環境の整備促進
- (4) 雇用の安定

国の基本目標④

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

<八潮市の現状>

【本市を支える生涯学習】

・本市では、生涯学習によるまちづくりに取り組み、学ぶ機会を通じてまちづくりの担い手となる人づくりに努めてきており、学んだ成果の地域社会への活用が期待される。(八潮市総合計画)

【求められる地域のつながり】

・近年開発が進む本市では、新旧住民が交流しあいながら地域コミュニティを形成することが求められている。(市民会議)

・少子高齢化・核家族化等の時代の変化、人々の生活形態や価値観の変化によって、町会・自治会への加入や地域活動への参加意識の希薄化が見受けられる。(八潮市総合計画)

【求められる安心なまち】

・「居住地に求める条件」として市民・東京都特別区住民がともに「治安」を上位にあげる一方で、八潮市の「治安」に対して不満を感じている市民が多い。(八潮市地方創生アンケート)



基本目標4：地域づくりと安全・安心（仮）

<基本目標の趣旨>

地域における人と人とのつながりを強め、互いに支えあいながら安全・安心なまちづくりを進める。

<取組の基本的方向と対応する総合計画の施策>

1-1 生涯学習

- (1) 生涯学習機会の充実
- (3) 学習成果の活用

1-3 青少年育成

- (2) 青少年の社会参加の促進
- (3) 青少年活動の推進

1-4 社会教育

- (1) 社会教育活動の充実
- (2) 社会教育活動の推進
- (3) 家庭における教育の充実

1-8 コミュニティ

- (1) コミュニティ活動の推進
- (3) 外国籍住民との交流の促進

3-1 防災・減災

- (1) 地域防災計画の推進
- (2) 地域防災力の強化

3-3 防犯

- (1) 防犯力の強化
- (2) 防犯施設の整備

3-4 消防・救急

- (1) 消防体制の強化
- (2) 消防団を中核とした地域消防力の向上

■総合戦略の構成（案）

[必須]基本目標 1：（基本目標のタイトル）

□現状と課題

（人口ビジョンにおける人口動向の分析や、アンケート結果、その他統計データ等から、基本目標を設定する背景情報を整理する。）

□基本目標の趣旨

（基本目標が表す趣旨を記述）

□[必須]数値目標

指標名	基準値	目標値
（活動指標ではなく成果指標を設定する）		

□総合計画の関連施策

（総合戦略と総合計画の施策体系との関係を整理する）

基本的方向と具体的な施策

[必須]基本的方向1：		
(基本目標達成のためのシナリオを記述)		
[必須]具体的な施策	[必須]KPI(重要業績評価指標)	
(事業内容を記載)	基準値	目標値

基本的方向2：		
(基本目標達成のためのシナリオを記述)		
具体的な施策	KPI(重要業績評価指標)	
(事業内容を記載)	基準値	目標値

基本的方向3：		
(基本目標達成のためのシナリオを記述)		
具体的な施策	KPI(重要業績評価指標)	
(事業内容を記載)	基準値	目標値